

We Love Suita Osaka みうらネット



平成27年冬号 大阪府議会議員 三浦とし子

〒564-0041 吹田市泉町 5-15-22
TEL: 06-6190-6877
FAX: 06-6190-6511
ホームページ: <http://miura.fugi.jp>
E-mail: miura@komei-fu.com

大阪府議会9月定例会 三浦とし子 環境農林水産常任委員会より

今年も残すところあと数日。皆さま方には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。9月定例府議会の環境農林水産常任委員会では、平成28年度から4年間、個人府民税の均等割に年間300円上乘せとなる森林環境税の導入について、また、大消費地の都市・大阪における農業振興について質問。新たな農業の担い手の育成。また、食文化が豊富な都市大阪において、大阪農業は生産から加工・販売まで行う6次産業化こそが要となることから、担い手への支援体制、商品開発やマーケティングの支援について質問しました。



→ 森林環境税の執行状況は府民に説明を

問 森林環境税が、どのような事業に活用されたのか、見える化するなど、府民に対して、しっかり説明し、広報していくことが必要ではないか。

答 「大阪府森林環境整備事業評価審議会」を設置し、外部有識者等に事業評価を行い、その結果を公表。毎年度、収入見込み額・執行額・翌年度への繰越額を公表。府民向けの報告会を開催し、事業説明に努める。

※今回導入される森林環境税は森林保全対策にのみ執行されます。税の対象から外れる都市緑化対策については、ヒートアイランド対策など対応が急がれます。既存の財源だけではなくクラウドファンディングなど新たな民間資金の活用等で早急な対応を求めました。



→ 準農家制度の推進で多様な担い手育成を

問 農地貸付希望の登録者のうち、新規参入者に対し、貸付希望する待機者が多い原因とその解決策について。又、農業大学校卒業生への積極的な農地の貸付に取り組むこと。

答 小規模な農地について、準農家候補者へ優先的に貸付できるよう農地中間管理事業の規定を改定したところ。さらに貸付可能農地の確保に向けた取り組みを地元市町村と調整し進めていく。

※準農家制度とは、多様な担い手育成に向けた取り組みとして、小規模な面積からでも、農地を借りて農業経営を開始できる大阪府独自の制度。



→ 大阪の都市農業振興の“要”6次産業化の推進を

問 6次産業化に取り組む事業者に対し、府としてマーケティングの指導、販売面の支援を充実すべき。更に食品加工事業者等とのマッチング機会の増加やチャレンジ意欲を高めるためにも製品の紹介等広報の充実が必要と考えるが。

答 サポートセンターや事業計画の立案や販路開拓等を担うプランナー、市町村、農と緑の総合事務所が連携したネットワークで販売面の支援を充実して参る。農協、商工会議所や地元金融機関などと共同したマッチングの機会を増大させ、自己資金の調達や経営相談なども充実させていく。6次化商品の紹介、PRなど6次産業化の推進に全力で努めて参る。



糸田川クリーン作戦初回から全参加



吹田市文化功労者表彰式典で挨拶



大阪中央卸売市場市民開放デーに出席



大阪府への各市町村からの要望を聴取

国立健康・栄養研究所の大阪(健都)への移転を!

政府が「地方創生」の一環として、中央省庁や独立行政法人など国の機関について全国の道府県に対し移転の提案を求めています。大阪府は8月末に中小企業庁、特許庁、工業所有権情報・研修館、国立健康・栄養研究所、PMDAの5つの機関の提案を行っています。三浦とし子は食生活と栄養、食品や運動等をキーワードとした調査研究を行っている「国立健康・栄養研究所」が健都(吹田操車場跡地)に移転することで、健康医療分野の企業の集積や新たな産業の創出を促進することが期待されることから、実現に向け大阪府がしっかり取り組むべきと求めています。

三浦とし子のプロフィール

- 略歴 府立千里高校、立命館大学経済学部卒
大阪市教育委員会勤務を経て、平成15年大阪府議会議員初当選 現在4期
- 現在 公明党大阪府議団副団長、吹田摂津総支部長
公明党大阪府本部女性局長
関西広域連合議会議員
- 信条 「誠実・誠意」 ●好きな食べ物 蕎麦
- 私のキーワード 「打つ手は無限」